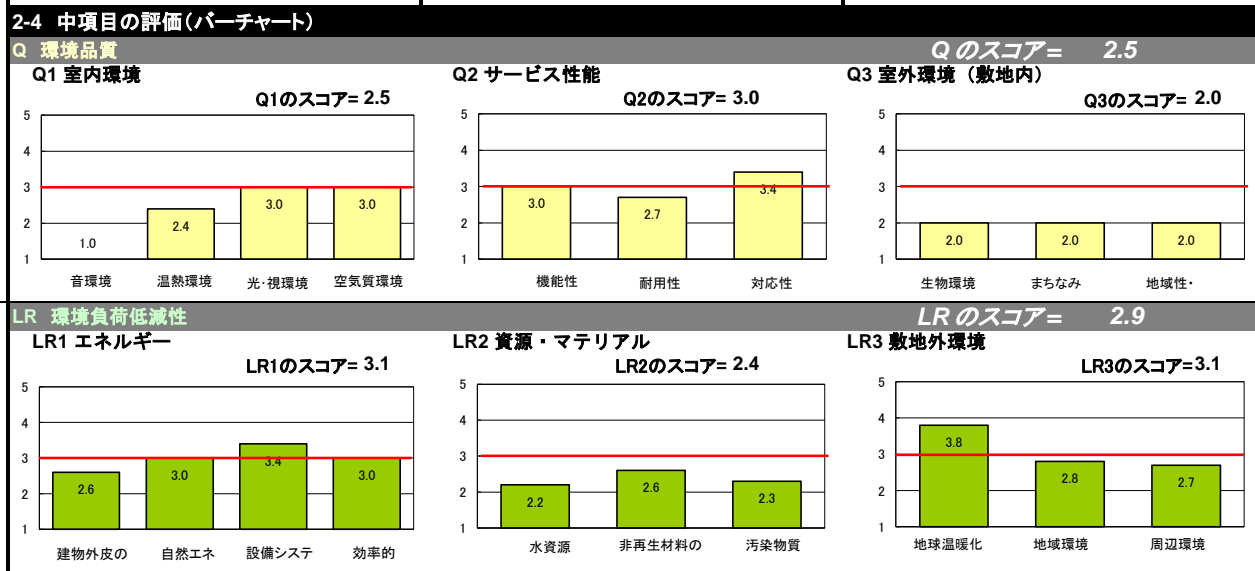
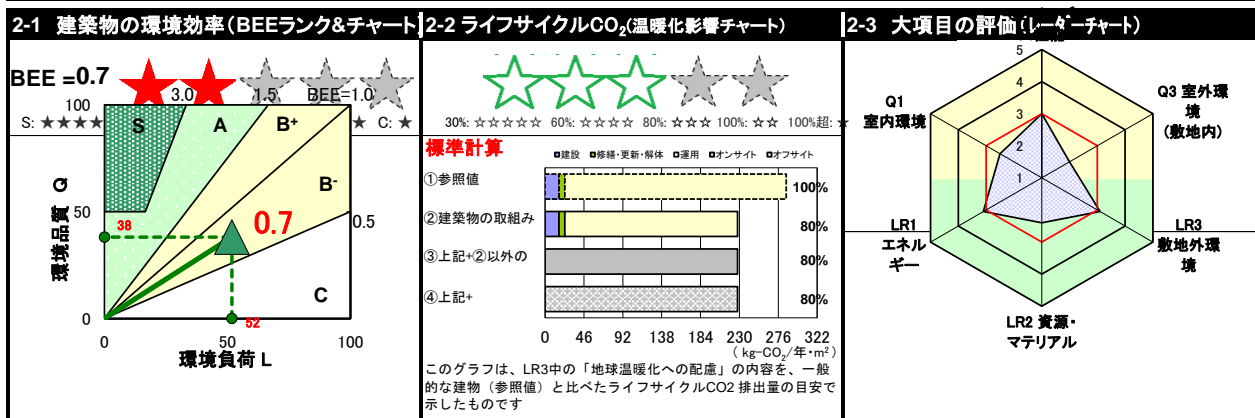


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市中央区上溝計画新築工事	階数	地上2F
建設地	相模原市中央区上溝4502-1、4503-2	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2020年10月12日
敷地面積	1,978 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	1,109 m <sup>2</sup>	確認日	2020年10月12日
延床面積	2,153 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
市道下九沢石橋線沿いの準工業地域内に物販店舗を計画した		
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い内装材を採用	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<b>LR1 エネルギー</b> BEIm=0.78 LED照明設備を導入している	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体+軽鉄+仕上材ののディールを採用した	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率80%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される